

## まえがき

横浜市では昭和48年度からほぼ3年ごとに、市内の川や海に生息する生物を調査してその結果を公表してまいりました。これは市民の方々に生物を通して水質の汚濁の現状を理解していただき、水質や水環境に係わる取り組みについて理解を深めていただくことを目的としております。

今回は第10回目にあたります。そのうち平成14年度に河川域を対象に行った調査を本報告書として取りまとめたものです。調査にあたっては、各分野の専門家の先生方をメンバーとする「横浜市内水域生物相調査会」と横浜市環境科学研究所により行われました。

横浜市は「横浜市環境管理計画」の中に、「自然とふれあえるうるおいとやすらぎのある都市」を目指すべき都市環境像として掲げています。さらに、良好な水環境を保全・創造するため「横浜市水環境計画」を平成6年3月に策定し、水域ごとに指標生物等をはじめとした水環境目標を掲げ各種の施策を推進しているところです。

本報告書が水質の改善や生物多様性の考え方を基本にした水環境の保全・復元に係わる取り組みを推進するための基礎資料として、おおいに活用していただければ幸いです。

また調査の実施にあたって御協力いただいた「横浜市内水域生物相調査会」の先生方に謝意を表します。

平成16年2月

環境保全局長 小野 耕一

## 横浜市内水域生物相調査会構成メンバー

氏名	所属	調査項目
鳥海三郎 (代表)	社団法人 観音崎自然博物館	生物相調査結果の概要 海域のプランクトン
金田彰二 (会計)	日本工学院専門学校 環境科学科	河川域の底生動物
村上雄秀	財団法人 国際生態学センター	河川植生、沈水植物
岩下 誠	千代田海洋科学ビジネス専門学校	海域の魚類
秋本 泰	財団法人 海洋生物環境研究所中央研究所	海域の底生動物
木村正吾	社団法人 観音崎自然博物館	海岸動物
田中次郎	東京水産大学資源育成学科	海藻（草）、汽水藻類
井上 勲	筑波大学生物農林学系	海産微細藻類

所属：調査の時のもの

# 目 次

## 第一部 横浜市河川域における生物相調査概要

I 調査項目及び調査方法	1
II 横浜市内の川の状況	5
III 河川域の生物相調査結果の概要（鳥海三郎）	10
IV 生物指標から見た水質汚濁状況	13
V 水環境目標の水域区分ごとの達成状況	26

## 第二部 生物調査結果

1 横浜市内河川の水質環境（2002～2003年） （環境科学研究所・環境保全局水質地盤課）	39
2 横浜市内河川における淡水魚類相調査報告（2002～2003年） （環境科学研究所・木村喜芳）	51
3 横浜市内河川における底生動物相（第10報，2002～2003年） （金田彰二・環境科学研究所）	83
4 横浜の淡水エビ・カニ類調査報告（2002～2003年）（環境科学研究所）	109
5 横浜市内を流れる河川の鳥類相（2002～2003年） （環境保全局水質地盤課・環境科学研究所）	121
6 横浜市の河川源流域における水辺植生（Ⅲ） —2002年度鶴見川水系調査報告—（村上雄秀・矢ヶ崎朋樹）	127
7 横浜市内河川の沈水植物（第7報）（村上雄秀・環境科学研究所）	151
8 横浜市内を流れる河川における付着藻類の分布状況（2002～2003年） （環境科学研究所）	157

（表紙の写真：上段は大岡川氷取沢、下段はサワガニ）